

リードレスペースメーカーの止血方法や 穿刺部合併症に関する調査のお知らせ

当院循環器内科では、2017年より保険診療適応となったリードレスペースメーカーの治療を行っております。この度、小倉記念病院手術室では、リードレスペースメーカーの術中に穿刺した足の付け根の血管の止血方法がどのように行われたか、また、術後の穿刺部の合併症や術後の在院日数などを、過去の診療録を振り返り調べることにしました。

この調査によりリードレスペースメーカー術後の止血方法の統一や、穿刺部合併症予防、術後の早期退院等を検討するために役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院循環器内科において2022年4月から2024年9月の間に、大腿穿刺によるリードレスペースメーカー移植術を受けた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、術後止血方法や穿刺部合併症の有無、術後在院日数などについて情報を得て、統計学的に分析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院
手術室 看護師 松村みゆき

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000(代)

